

第2回 当別町立地適正化計画策定委員会 会議要旨

- 1 日 時 令和元年10月3日(木) 10:00～11:30
- 2 場 所 役場 第2庁舎
- 3 出席者 黒澤委員長、下段副委員長、且見委員、細川委員、六角委員、
宮崎委員、栗重委員、梅本委員
- 4 説明員 江口企画部長、乗木まち再生室長、高田まち再生室主幹、
菅原まち再生室主幹、西脇まち再生室主任
- 5 会議要旨
議題
(1) まちづくりの方針について(修正案)
(2) 誘導区域及び誘導施設の設定等について

【委 員】

太美スターライト地区は居住誘導区域に入れてもいいのではないかと。

【事 務 局】

人口密度の推移では、太美スターライト地区は現在も人口密度が高く、将来も人口密度が維持される地区なので区域に入れていない。

【委 員】

太美スターライト地区に隣接している地区も同じ条件だと思う。これが表に出たときに、太美スターライト地区の人から何か意見があると思う。

【事 務 局】

居住誘導区域の考え方として、人口密度が減る地区の人口を増やすために区域に入れて施策を展開することを考えている。隣の地区は資料(P16)に記載しているが、1haあたりの築31年以上の住宅が40%以上を占めるエリアであり、将来的な建て替えを考えて区域に入れている。

【委 員 長】

居住誘導区域における支援策はあるのか。

【事 務 局】

区域に誘導するうえで、何らかの支援を行うことは考えている。

【委 員】

この地区は区域に入っていないから行政として優先順位が低いと誤解され、住民からいろいろ意見がでてくるのではないかと。

【委 員 長】

この件についてはわかりやすい説明が必要になってくる。

【委員】

将来の公共施設についての計画はどこまで進んでいるのか。誘導施策だけでは、実現性が見えてこない。絵はなんでも書けるが、費用対効果を考えたら、優先順位を決めた中で進められたらいいと思います。

【事務局】

立地適正化計画の中で具体的に公共施設をこうしていくというわけではない。ただ、その施策を進めるときに将来のまちのかたちを表す計画である。公共施設でいえば、具体的なことは個別計画の中でつくっていくものと考えている。

【委員】

ある程度かたちが見えるものではないと町民に説明していくうえでは難しいのではないかと。こういうかたちになりますということが、子育て世帯にとっては重要であると思う。

【事務局】

役場施設の老朽化は課題である。今後、周辺整備で農協を含めて協議していく。計画の中では事業費、図面などは別テーブルで考えていく。そこの作業も今年度進めているので、今後情報としてお伝えできると思う。

【委員】

資料に記載している具体的な施策のイメージは実際の計画の中に記載されるわけではないと思う。この具体的な施策のイメージが全部計画の中に記載されるという誤解が生じると思う。

【委員】

これぐらいのボリュームなら計画の中で書けるのではないかと。

【事務局】

具体的なもので書けるものは計画の中に記載していきたい。今回は誘導施策のイメージということで出させていただいた。最終的に具体的な支援策ということで決まれば、載せていけると思う。

【委員】

どういうまちのイメージにしたいのか、庁舎内で他の部署の施策をもっと拾いあげて、庁舎内でのコンセンサスをとってほしい。庁舎内で立地適正化計画に関する検討会議みたいなものはあるのか。

【事務局】

関係ある部署とは、その都度協議している。庁舎内の検討会議としては都市計画幹事会を開催し協議していくことも考えている。

【委員】

目標値の設定については考えているのか。

【事務局】

今回の策定委員会で示せると思う。素案の作成の中で目標について示していけると思う。

【委員】

参考資料の中にあるまちづくり会社など、具体的に意見を聴取しているので良いと思う。

【委員】

区域の設定はデータに基づいて、整理するしかないので問題ないと思う。誘導施策における実現性についての視点が、この先の策定委員会で必要かと思う。地区が決まり施策をどんどん展開できるというような青写真が描けるような選定でなければ、立派な施設ができて、人が全然来ないというようなことになりかねない。誘導施策と誘導区域がリンクしないと、計画ができただけでは人が来ないので、そのような視点が必要である。

【事務局】

計画の中で施策達成状況についての評価方法については次回に提案する。

【委員】

立地適正化計画は居住と居住に関わる施設の立地に関する計画であり、どのように人が流れるかも考えないといけない。ゾーニングだけではなく、人の動きも考える必要がある。施設を配置するだけの施策ではなくて、そこでの活動をイメージした施策が必要がある。

【委員長】

都市機能誘導区域と居住誘導区域の二つが別物で動いていたらまずいわけで、そういう観点から見てみる必要がある。

【委員】

まちの中に住んで賑わいがあるのは大事。みんなで考えることやスピードも大事だが強引にいくことも大事ではないか。私が住んでいる地区は昔は何もなかったが、スーパー、葬儀場などができてまちの中より人が多いと思う。築40年以上で、高齢化しているがそのような施設があるため人の流れができています。

【委員】

町内にカフェができています。人の流れができれば、外に出る動機になる。

【委員】

農業でも高齢化するなかで、居住するなら田舎よりもまちなかになると思うので、人を誘導できる施設があれば人がくるのではないかと。

【委員長】

計画の中で当別町としての特徴が少ない。計画の中でどう生かせるかわからないが、そういうものもあっていいと思う。

今日の議案について、委員会として確認したということで、よろしいか。

【全委員】

異議なし。

以上